

# 幕張サン・ハイツ自主防災会広報

No. 34

幕張サン・ハイツ自主防災会 2025.11  
E メールアドレス : bousai@sanhaitu.sakura.ne.jp



## 第4回戸別現況調査の結果について

令和7年9月13日～10月14日までに提出された戸別現況調査を集計いたしました結果をご報告します。  
回収数196戸（前回比マイナス4戸）、多くの方からご協力を賜りましたこと御礼申し上げます。

年齢層の調査から単純に平均すると概算で59歳位になりますが、空欄で提出された世帯が16戸、未提出世帯が35戸あり、実際とは大分変わってくると思います。

自主防災会へのご意見の中になりましたように来期、自主防災会は管理組合の委員会組織になる予定です。防災活動へのご支援は、引き続き継続いたしますが、本来防災活動は住民の一人ひとりが主役で行うべき活動なのです。この10年の活動のまとめである「防災マニュアル」を読み返して、いただきたいと思います。今回も調査票と一緒に配付させていただきました携帯トイレのサンプルを実際に試した方は、前回と変わらず17.3%でした。ティッシュペーパー、ちぎった新聞紙、猫砂、ペットシーツや紙おむつなどが便の代用品として使えますので、ぜひ一度は試しておいてください。平常時に試しておけば、要領が分かり、災害時に安心して使用ができます。災害用伝言ダイヤル(171)は、非常時の安否確認に非常に有効です。体験テストが毎月1日と15日(00:00～24:00)に利用できます。この他に正月三が日(00:00～24:00)、防災週間8月30日～9月5日(9:00～17:00)、防災とボランティア週間1月15日～1月21日(9:00～17:00)が利用できるので、各家庭で試して利用方法を習得していただきたいと思います。

### 傾向と対策

- イ. 災害時に援助協力の可能な方は、AEDを含む心肺蘇生法では11名、看護師1名、介護福祉士1名の方々からお申し出をいただき、御礼申し上げます。
- ロ. 非常持ち出し品・備蓄品を準備されている家庭は、71.0%でした。前回は76.5%でしたので、準備状況は少し低下しています。大地震後の在宅避難にも備えてください。
- ハ. 配布した携帯用トイレを実際使った方は、17.3%で、前回の17.5%とほぼ同じでした。  
前回試したので、省いた方もおられると思いますが、平常時に試しておくことが大事です。  
一度も試したことがないことを非常時にやるのはハードルが高いのです。自分達の安心のためにもぜひ一度は使ってみてください。
- 二. 家具等の転倒防止対策は65%でした。前回が70%でしたので、少し後退したようです。  
突然の地震から自分や家族の身を守るには、普段から家具等の固定および配置の工夫を講じておくことが一番大事です。
- ホ. 住宅用火災警報器の設置に関しては、キッチンが76%に対して、寝室は48%でした。  
因みに前回はキッチンが73%で、寝室は45%でした。設置状況は前回からやや向上しました。  
千葉市火災予防条例では台所と寝室の両方に設置が義務付けられています。寝室の設置は就寝中の「逃げ遅れ」を無くし、大切な家族や自分自身の命と財産を守るためです。定期的に作動を確認し、10年を目安に交換しましょう。
- ヘ. 消火器を自宅内に常備している家庭は、51.9%でした。前回が27.5%でしたので、飛躍的に増加しました。  
一昨年管理組合で共同購入を斡旋していただいたことが、響いたと思われます。火災時の対応で重要なことは周囲に知らせることですが、次にすることが、発生から1～2分の初期消火です。火が天井に達していないうちに消火しましょう。初期消火を可能にするためには、常時、手元に消火器を置いておくことです。

以上